

四季の色とかおりのある真っ直ぐ続く長い道

秋田県 大潟村 産業建設課

1. はじめに

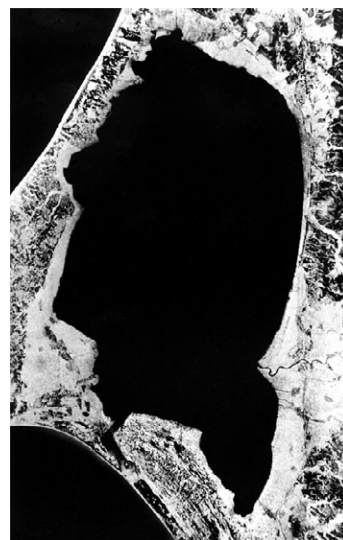
大潟村は、人口約 3,400 人、面積 171 平方キロメートルで、秋田県男鹿半島の付け根に位置しています。琵琶湖に次ぐ日本第 2 の広さを誇る湖、八郎潟の干拓により湖底から誕生した新生の大地で、1964 年（昭和 39）に秋田県で第 69 番目の自治体として名乗りを上げました。日本農業発展のモデルとなり得る近代的な営農技術を導入した大規模農業の実現と、農村社会のモデルたるにふさわしい新農村建設の目的で創設された村です。

干拓においてはオランダ技術が導入され、湖面の一部が淡水湖として残り、周囲 52 km の堤防に囲まれた村内の景観は日本離れています。

また海拔 0m 以下の干拓地である大潟村には、各々毎秒 40t の排水能力を有する南北の排水機場、それらを結ぶ中央幹線排水路、さらに日本海の潮流から遮断し、淡水化を維持する防潮水門などが設置されています。

村の区域構成も合理的になされ、村の西側に位置する集落地は住居施設と農業施設区などに区分されています。

現在、専業農家 523 戸が 9,000ha の農地で水稻を中心として、大豆や麦、野菜等、環境に配慮し、大型農業機械を駆使した農業経営を行っています。



かつて日本第 2 の湖だった八郎潟



新生の大地 大潟村



現在の大潟村

2. 花と並木のまちづくり「菜の花ロード」「並木ロード」

大潟村では、並木づくり構想のもとで村立20周年記念事業として、1984年（昭和59）から3カ年にわたり、住民参加のもと、県道沿いに桜3,000本（約11km）、イチョウ2,350本（約8km）、村道沿いに梅1,250本（約7km）を植栽し、更には平成6年からは県道沿いに菜の花を植え、約16kmにわたり菜の花を楽しむことができます。

また、夏には約8kmにわたるひまわりロードが、ふりそそぐ光と太陽の恵みいっぱいの爽やかな風に揺れ、元気いっぱいに迎えてくれます。



菜の花ロード



イチョウ並木



ひまわりロード

また、桜と菜の花ロードの中には「大潟富士」があり、高さは富士山の1/1000、3.776m 頂上がちょうど海拔0mになっている「日本一低い山」（人工）があります。

大潟村では桜と菜の花の開花時期が重なり、桜と菜の花ロードは4月中旬からゴールデンウィーク終盤まで記念写真を撮る人や弁当を広げる家族づれなど多くの人でにぎわいます。

2001年（平成13）に菜の花ロードが、環境省が認定する「かおりのある風景百選」に認定され、2004年（平成16）には桜・梅・イチョウ並木が地域と調和しかつ優れた環境を創出した道路空間として（社）道路緑化保全協会が認定する「菊池道路環境賞」を受賞しています。

2000年（平成12）には県道沿い地場産の農産物を販売する「産直センター潟の店」と、八郎潟干拓とモデル農業大潟村を未来に伝える「干拓博物館」がオープンし、2008年（平成20）には道の駅「おおがた」となり、多くの来村者を迎え入れてくれます。



桜と菜の花ロード



大潟富士



産直センター潟の店 道の駅おおがた



大潟村観光マップ

3. おわりに

並木ロード、菜の花ロードや道の駅「おおがた」の整備により、大潟村全体が観光資源となって、多くの観光客が大潟村を訪れてくれます。

干拓により誕生した異国を思わせる景観は、四季を通じて、自然を満喫することができます。秋田自動車道の一部も無料化社会実験により利用しやすくなっておりますので、ぜひ皆さんも、緑輝く美しい大地大潟で、真っ直ぐ続く長い道、空の色、自然の息吹に包まれた異国を思わせる大潟村への旅を計画してみてもいかがでしょうか。